

一般社団法人日本専門医機構（第4期）
第8回理事会 議事概要

1. 開催日時 2021年1月15日（金） 16時00分～17時43分
1. 開催場所 日本専門医機構会議室
1. 現在理事数 24名
出席理事数 23名
理事長 寺本 民生
副理事長 今村 聡（WEB） 兼松 隆之（WEB）
理事 浅井 文和（WEB） 有賀 徹（WEB） 池田 徳彦（WEB）
大磯義一郎 大川 淳（WEB） 神野 正博（WEB）
北村 聖（WEB） 木村 壯介（WEB） 久住 一郎（WEB）
今野 弘之（WEB） 佐藤 慎哉（WEB） 佐藤 豊実（WEB）
鈴木 美穂（WEB） 富永 悌二（WEB） 富山 憲幸（WEB）
南学 正臣（WEB） 羽鳥 裕（WEB） 森 隆夫（WEB）
森井 英一（WEB） 渡辺 毅
※（WEB）は「WEB会議システム」利用による「WEB会議運用規則第2条」
1. 現在監事数 3名
出席監事数 2名
跡見 裕（WEB） 松原 謙二（WEB）
1. 事務局 事務局長 堀部 真人 他
欠席理事数 1名
理事 村井 嘉浩
欠席監事数 1名
監事 相澤 孝夫
(全て五十音順／敬称略)

議事次第

16時00分、定刻に至り、寺本理事長より挨拶の後、出席理事定足数の確認を行い、本理事会の成立を宣言し議事を開始した。

議事に先立ち、厚生労働省医政局医事課長の山本英紀氏より着任の挨拶があった。

I. 第7回理事会（12月18日）の議事録等の確認

第7回理事会の議事概要案が提示され、議事録についても逐次作成されることが確認された。

II. 協議事項

1. 専門研修プログラム委員会 協議事項

(1) 専門研修プログラム整備基準変更について（外科・産婦人科）

北村理事より、外科領域および産婦人科領域より申請のあった専門研修プログラム整備基準の変更について、委員会で審査を行い承認したことが報告され、承認された。

(2) 専門研修カリキュラム整備基準変更について（外科、小児科、産婦人科、泌尿器科、麻酔科、総合診療）

北村理事より、外科、小児科、産婦人科、泌尿器科、麻酔科、総合診療、以上6領域より申請のあった専門研修カリキュラム整備基準の変更について、委員会で審査を行い承認したことが報告され、承認された。

(3) 新規開院施設の連携施設追加について（産婦人科・総合診療）

北村理事より、国際医療福祉大学病院および千葉大学産婦人科研修プログラムについて国際医療

福祉大学成田病院の携施設追加申請が、藤田医科大学総合診療研修プログラムについては藤田医科大学岡崎医療センターの連携施設追加申請があり、要件を満たしていることから委員会で承認された旨報告があり、承認された。

(4) 整形外科とリハビリテーション科のダブルボードについて

北村理事より、整形外科ならびにリハビリテーション科専門医を対象にしたダブルボード取得にかかるカリキュラム整備基準（案）について報告があり、承認された。

2. 専門医認定・更新委員会 協議事項

(1) 専門医更新二次審査について（病理・産婦人科・放射線科）

大川理事より、機構の定めた更新基準に基づき学会の一次審査に合格した病理専門医 436 名、産婦人科専門医 1,145 名および放射線科専門医 413 名について、委員会での二次審査の結果、機構認定専門医として承認されたことが報告され、承認された。

3. 総合診療専門医検討委員会 協議事項

(1) 専攻医への登録管理料・システム利用料の依頼について

羽鳥理事より、専攻医へ請求した登録管理料・システム利用料に対する専攻医や関連学会からの意見書について報告があり、より丁寧な説明や回答の場を設けて進めることで意見が一致した。

4. その他：なし

III. 報告事項

1. 専攻医登録（二次募集）登録状況について

寺本理事長より、2021年4月専門研修開始予定の専攻医登録の登録状況について、一次募集では8,417名、二次募集（本日正午時点）では682名が採用されたことが報告された。

2. 各種委員会報告

(1) 総務・規約委員会

兼松副理事長より、ビジネスフォンについて USEN「光電話」に移行することが提案され、承認された。

(2) 財務委員会

今村副理事長より、次年度収支予算書案を作成するため、各委員会ごとに次年度事業計画案に基づく予算書案を提出するよう依頼がなされた。

(3) 広報委員会

浅井理事より、「ドクターゼ 38 号（7 月 25 日発行予定）」における専門医特集企画案が 3 月には提示できること、毎月の定例記者会見を受けて書かれた記事を今後理事会にて報告していくことが説明された。

(4) 専門研修プログラム委員会

北村理事より、日本医学放射線学会からの COVID-19 禍における専攻医必須受講の領域講習について、当該学術集会における領域講習単位数の上限緩和を認めることで対策を講じたことが報告された。

(5) 専門医認定・更新委員会

大川理事ならびに寺本理事長より、専門医資格更新時の更新試験や地域医療への貢献について、全基本領域と面談を行い意見を伺っている旨が報告された。地域での医療従事については、各領域により考え方に幅があること、原則専門医資格の意味合いを汲んで自立性を重んじること、以上の観点から、現時点では義務とはせず、インセンティブを進めていく意向が示された。

(6) サブスペシャルティ領域検討委員会

渡辺理事より、14 基本領域のサブスペシャルティ領域連絡協議会設置が承認されたこと、既認定の24 領域および新たに申請された21 領域の調査票を評価し、2月の理事会で機構認定の是非を問いたい旨が報告された。なお、サブスペシャルティ領域専門医制度認定の今後の進め方について、2月9日に14 基本領域と全体会議の機会をもつことが報告された。

(7) 総合診療専門医検討委員会

羽鳥理事より、総合診療専門医検討委員会 認定・更新部会員として塚田弥生氏が追加されたこと、総合診療領域オンライン研修システムの機能追加案が報告された。

(8) 英文表記に関するワーキンググループ

南学理事より、19 領域における統一性のある用語集作成にかかる新語申請の説明があった。

3. その他

(1) 次回（1月18日）定例記者会見について

浅井理事より、次回の定例記者会見を1月18日に行うこと、次第内容は専攻医採用数報告とすることが報告された。

(2) その他

寺本理事長より、1月28日に開催予定の「2022年度専門医養成数に関する検討協議会」において、COVID-19による影響を考慮し、2022年度専攻医シーリング数の検討を行う旨報告がなされた。

今後の会議予定

第9回理事会

令和3年2月19日（金）16時00分～18時00分